

令和7年度 佐賀市地域包括支援センター運営委員会 議事録

佐賀市保健福祉部高齢福祉課

◆ 開催日時 令和7年7月24日(木) 14:00~15:15

◆ 開催場所 佐賀市立図書館2階 多目的ホール

◆ 出席者

◎出席委員 (敬称略 五十音順)

池田敦子、大塚卓、木村泰代、坂井沙織、凌文字、清水美由紀、高津万亀代、中里栄介、
藤本紗千代、松本博、山下美保、吉原正博

◎事務局 (佐賀市)

牛島保健福祉部長、横田高齢福祉課長、野田副課長兼地域包括支援係長、池田副課長兼介護予防
係長、江原主査、庄島主任、末次主任、高橋主事、芹田認知症初期集中支援チーム員

◎各地域包括支援センター代表者

管理者等11名

◆ 傍聴者 0名

◆ 議事要旨

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 佐賀市保健福祉部長あいさつ
4. 佐賀市地域包括支援センター設置要綱について
5. 会長の選出
出席委員の承認で次のとおり決定した。
会 長：中里栄介
6. 議事
 - (1) 佐賀市地域包括支援センター運営委員会
 - ①令和6年度地域包括支援センター事業報告
《事務局説明》
《質疑応答》なし
 - ②令和7年度地域包括支援センター事業計画
《事務局説明》

《質疑応答》なし

③高齢福祉課の関連事業

《事務局説明》

《質疑応答》

○委員

地域版元気アップ教室について、歯科医師会としてはオーラルフレイルの啓発には非常に重要な機会だと考えている。地域版の実績が増えていないが、どのように案内していて、今後どのように拡充していくのか。

○事務局

例年4教室ほどの開催に留まっている。開催が進んでいない地域を中心に地域包括支援センターと一緒に啓発を行っていききたい。

○委員

元気アップ教室はどのように周知しているのか。

○事務局

市報及びぶらざで周知を図っている。また、各地域包括支援センターに相談に来られた方に個別に案内している。

(2) 認知症初期集中支援チーム検討委員会

《事務局説明》

《質疑応答》

○委員

初期集中支援チームへの相談件数が毎年十数件となっているが、月一件程度なのか。三師会で認知症検診をしてはどうかと議題に挙がっており、認知症検診を提案したい。

○事務局

年度内で偏りはあるが、月一件程度相談があっている。

先進地では、MCIの検査を含めた取り組みもある。佐賀市としては、認知症施策の推進について、内部で検討を重ねている。

(3) 佐賀市地域ケア推進会議

《事務局説明》

《質疑応答》なし

(4) 全体を通しての質疑応答

○委員

佐賀市が認知症施策に力を入れて取り組んでいるというのは伝わってきたが、認知症地域支援推進員及びチームオレンジコーディネーターの配置数が0になっている包括がある（会議資料P.2）。4月以降に配置されているのか。

配置されていないのであれば、令和7年度の重点業務に関する計画（会議資料P.18）の認知症地域支援は、他の職種が行うのか。

○事務局

令和7年3月末時点で配置がなかったが、現在は配置されている。認知症地域支援推進員とオレンジコーディネーターは各地域包括支援センターに兼務で配置されており、一人で二つの業務を行っている。

○委員

「介護保険べんり帳」及び「高齢者福祉サービスのご案内」は全戸配布しているのか。介護認定はおたっしゅ本舗（地域包括支援センター）に相談するということを知らない人もいますが、どのように周知しているのか。

○事務局

「介護保険べんり帳」は佐賀中部広域連合が発行している。以前は全戸配布していたが、全ての世帯に必要ではないことや経費の問題から、現在は全戸配布せずに佐賀市役所や地域包括支援センターに設置し、配布している。相談に来られた際は、「介護保険べんり帳」を使用し、丁寧に説明している。

市内15か所の地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口であり、「高齢者に関する相談は、まずはおたっしゅ本舗に相談する」ということを周知している。高齢者見守りネットワーク事業の登録事業者からも相談があり、地域包括支援センターが介護保険や他事業につなげる窓口となっている。高齢者とその家族に向け、市報等で周知しているが、知らない人もまだいる。気になる高齢者がいれば地域包括支援センターをご案内いただきたい。

○委員

民生委員は各冊子を全員もらっていて、訪問の際に参考にしている。自治公民館での活動の際に紹介もしている。

○委員

職員の配置状況（会議資料P.2）について、設置基準等はあるのか。

○事務局

三職種（主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士）は各1人配置することが原則ではあるが、人口等により、保険者である佐賀中部広域連合が人数設定をしている。

○委員

相談件数が多いが、現在の配置人数で足りているのか。ケアマネージャーの人手不足もある中、「主任ケアマネージャーにはなりたくない」という人も多いのではないかと、現場の声を聞きたい。

○事務局

相談件数、困難事例及び要支援認定者数が増加しており、厳しい状況であるとは聞いている。

○地域包括支援センター管理者

運営受託法人と相談し、数年前に社会福祉士を一人増員した。社会福祉士二人にケアマネージャーの資格取得を促しており、現在は受験に向け準備を進めている。介護認定申請数や相談数が増加しており、ケアマネジメント業務を委託もしているが、それでも多い。ケアマネージャーの募集をしてほしいとは考えている。

○地域包括支援センター管理者

人手は全然足りていない。ケアマネージャーは70～80件を担当している。三職種はメイン業務があるため、担当件数は最大でも30件というのが佐賀中部広域連合の見解だが、40件ほど担当している。

○会長

佐賀市の方でも、皆さんの声を聞く機会を作っていただきたい。

(7) 閉会